教育ひょうご
発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 森戸卓也
編集人 小林健
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）
2023/10・1
No.2078

- 第50回教育課程編成講座 後期
- 追悼の夕べ 出演者募集のお知らせ

# 兵教組・県職労 第1回県人事委員会 事務局長交渉を実施！

9月22日、兵教組は、県職労とともに、第1回人事委員会事務局長交渉をおこない、9月4日の申し入れに対する現在の検討状況の説明をもとめた。

古川事務局長は、「現在、**民間給与実態調査等の集計・分析等をおこなっている**ところであり、人事院の報告・勧告の内容、皆様方からいただいた**申し入れの内容も勘案しながら、本年の勧告・報告について検討をすすめている**」とした上で、現時点での見解を示した。

回答を受け、松浦書記長は「学校業務の抜本的見直し・削減と勤務時間の適正化の推進について」、「臨時的任用教職員の待遇改善について」、「休暇・休業制度の拡充について」、「会計年度任用職員の処遇改善について」の4点を要求し、「学校業務の抜本的見直し・削減、業務量に応じた必要な人員の確保、教職員の未配置問題の解消にむけ、改めて労働基準監督機関としての機能を発揮し、今年度中に少しでも『働き方が変わってきた』と実感できるとりくみにつながるよう、最大限の対応をもとめる」と要請した。

さらに小林中央執行副委員長は「学校業務の削減と勤務時間の適正化について」兵庫県の勤務実態調査の結果からも、超過勤務時間は若干減ったものの、休憩時間中の業務、持ち帰り業務が増え、約3割を占める小学校をはじめ全校種で休憩時間を確保できていない実態があきらかとなっている。このように休憩時間の確保すらままならず、長時間勤務が常態化している学校現場では人材の確保がすすむはずはない。勤務時間の適正化・業務削減を着実にすすめるために、文科省の中央審議会特別部会でまとめられた緊急提言もふまえ、言及いただきたい。

「教育職の再任用職員の給与について」事務局長からは昨年の報告以降、全人連に対して要請をおこなった旨の回答だったが、再度要請する。教職員の未配置問題がこれほどまでに深刻化し、解消の目途が一向に立たない状況にある中、学校現場にとってこれまで以上に再任用教職員の存在は大きくなっている。豊富な知識と経験を生かしながら、多忙な学校現場を支えている。現職と同様に過重な業務を担っていながら、その業務に見合う給与水準とはなっていない。全人連からは「現状では改定することは難しい」との回答があったとはいえ、学校現場の実態をふまえ、再任用教職員の給与水準の改善を引き続き全人連に対して要請いただきたい。あわせて、任命権者にも言及いただきたい。

学校業務の削減、長時間労働の是正、教職員の未配置問題を解消するために必要な人員の確保および処遇改善にむけ、労働基準監督機関としての機能を充分に発揮するよう重ねてお願いする」と要請し、交渉を締めくくった。

詳細は闘争速報No.3を参照

## 「夜の散歩」

たつの市立揖保小学校　5年
宮﨑　樹

「腹ごなしに散歩行こか」
父ちゃんが言った
鼻歌を歌いながらくつをはいた
外へ出ると暗い道と家の明かり
秋の夜は足とうでがひんやりした
夜の散歩が始まった

田んぼの間の道
いねはやわらかくかたむく
風はやさしくすき通る
遠くで光る車のライトは
ありの行列みたいにつながる
音楽会の練習のこと
次の休みに何をするか
二人の声がひびく

一本の長い道
月の明かりで雲が光る

空だけ昼のようだ
父ちゃんと本気で走った
足音以外は無音
追いかけても追いかけても
小さくなる父ちゃんのかげ

帰り道
二人でアイスを食べながら
ゆっくりと歩いた
重かったむねがすっと軽くなった
家の明かりが見えてきた
「また散歩行こな」
父ちゃんと約束した

『こどもの詩と絵　第43集』より

「どうぶつとなかよし」
丹波篠山市立西紀北小学校　1年
荒山　友吾

（一財）兵庫県学校厚生会

# しげちゃん一座 ～絵本ライブショー～

申込締切 10月20日(金)

しげちゃんこと室井滋さんと絵本作家の長谷川義史さんの歌や朗読を、ピアノ奏者・大友剛さん、サックス奏者・岡淳さんのメロディーにのせて、絵本の世界を演じます。

女優、絵本作家、ミュージシャンが集結したスーパー絵本ライブカルテット、しげちゃん一座♬　大人も子どもも一緒に笑って、ちょっぴり涙して、心がじんわりとあたたかくなる、絵本ライブショー。

日　　時：12月28日（木）14時開演（13時開場）
対　　象：全会員とその家族
参加会費：大人（高校生以上）　800円
　　子ども（3歳以上～中学生以下）300円
　　※3歳未満の子どもは、保護者1人につき1人まで
　　ひざ上無料。ただし、席が必要な場合は有料。
会　　場：神戸文化ホール 大ホール
　　（神戸市中央区楠町4-2-2 神戸市営地下鉄「大倉山駅」約50m）
募集人数：1,000人

詳細・申込みはこちらから！
共通パスワード「kouseikai」

お問合せ
（一財）兵庫県学校厚生会 第1事業部 福祉係
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-7-34
TEL:(078)331-9968

# 第50回教育課程編成講座（後期）
# 「授業時数と教育実践」

8月2日・3日、第50回教育課程編成講座がラッセホール・神戸市教育会館・県民会館でおこなわれた。

2日目に開催された後期講座の全体会では、「授業時数と教育実践」をテーマに、大森直樹さん（防災教育部会協力研究所員）による講演と、永田守さん（芦屋市教職員組合）による実践報告、意見交流をおこなった。（以下要旨）

**講師　大森　直樹さん（防災教育協力研究所員）**

8年前、学童保育のベテラン指導員から、「近頃は子どもたちがなかなか学校から学童にこない」、「やっと学童に来ても、ぐったりしている」という話を聞いて、子どもの生活に変化が生じており、この変化の意味は決して小さくないだろうと思った。それから私は授業時数のことを研究するようになった。この間、調査をして少し整理できたことを皆さんにお話したいと思う。

授業時数は今、どうやって決まっているのか。これは「国が省令で標準時数を定めて、それにもとづき学校が定める」というしくみになっている。例えば1年間９８０、あるいは１０１５という形で、１年間の時間数を省令で定めるしくみになっている。では、標準時数はどのように変わってきたのか。１９６８年から現在にいたるまでの小学５年生の標準時数をまとめてみた。１９６８年は１０８５コマ、７７年には１０１５コマになる。これがいわゆる第一次ゆとり教育。次の８９年が１０１５コマ、９８年が９４５コマ。これがいわゆる第二次ゆとり教育と言われている。しかし、その後、増加へと舵が切られる。２００８年になると９８０コマになる。更に今は、１０１５コマになっている。ここで一つ考えないとけないことは、６８、７７、８９年の３つの標準時数は、いずれも学校が週６日制の時の標準時数であるということ。同じ１０１５コマでも、６日間で１０１５コマおこなうのと、５日間で１０１５コマおこなうのでは、子どもたちへの負担が大きく変わってくる。こうした標準時数の変化について、教育現場からきちんとした評価をすることが必要であると考える。私は、標準時数について教職員からの批評をもっと強くするべきだと思う。現場の教職員が標準時数の合理的側面と非合理的側面について認識を深めることには２つのメリットがある。１つは、標準時数の非合理的側面の被害が子どもにおよぶことを、運用によって少なくできる。２つは、次期の標準時数の改訂に影響力を与えることができる。

２０２０年ごろからカリキュラム・オーバーロードという言葉で教育課程の課題を論じる動きが始まっている。一般にカリキュラム・オーバーロードは「カリキュラムにおいて、学校や教職員、子どもたちに過大な負担がかかっている状態」として理解されている。

日本では１９４７年以降、国が教育課程基準を定め、それにもとづき学校が教育課程を定めてきた。学校の教育課程のあり方を評価するためには、子どもの学習の事実と教職員による教育の事実を参照することが欠かせない。そうした視点に立ち、「肥大した教育課程」という言葉で、国の教育課程基準の問題点を整理してきた論がある。気になるのは、「資質・能力を重視」することがカリキュラム・オーバーロードの解決につながるという論が出されていて、そこでは標準時数の検討が十分におこなわれていないことだ。この間の各期の標準時数を実際に現場で経験してきた教職員の立場からは、この制度のプラスとマイナスがどういう風に見えてくるのか。そこからの言葉が一番大事になってくると考える。

**実践報告者　永田　守さん（芦屋市教職員組合）**

子どもたちも、そして私たち教職員も「今の学校生活なんかしんどい。余裕がない」と感じているのは、「オーバーロード（過搭載、つめこみすぎ）」が原因の一つではないかと考えている。２０１７標準時数の現行学習指導要領は、学ぶべき教科数も増加しており、カリキュラム自体がかなりのオーバーロードではないかと考えている。

これからの多様で予測不可能な時代に生きる人材を育成すべく、「あれも必要」、「これも必要」と教育内容がどんどん増やされており、教職員は以前よりたくさんの種類の教科を教えなければならなくなっている。「たくさん教える事」、「時間をかける事」、「いろいろな種類を教える事」が、子どもたちにとって本当にいいことなのか一度立ち止まって考えてみたいと思う。

また、感染症流行下において、教育課程編成の「前提」として第一に考えたのは、子どもたちの「心と体」に重大な影響が出ていると言うことである。そこで、「心と体のアンケート」を実施した。その全体的な結果から、子どもたちが「高ストレス」状態であることがあきらかになった。この「高ストレス」を抱えた子どもをいかに支えながら教育活動をおこなっていくのかが、私たち学校現場の教職員に課せられた使命であり、そこで、教職員で共通理解したのが、「急がない、詰め込まない、子どもの『安心・安全感』を第一に」というキーワードだった。日常をとり戻していく作業はとても重要なことである。しかし、「高ストレス群」の子どもに「取り残された感」や「無力感」を与えないような教育的配慮が何よりも必要である。

もう一つは「教科書すべてをこなす」ということに重点を置くのではなく、あえて「軽重（メリハリ）」をつけることである。その時の重要な視点は、「目の前の子どもたちの実態」からスタートすることである。また、「軽重（メリハリ）」をつけることで、教員自身が「指導の工夫」や「子どもたちにとって大切な学び」について取捨選択するなど、「思考停止」しないことも大きなメリットとしてあげられる。

---

阪神・淡路大震災
児童・生徒、教職員 **追悼の夕べ**

## 出演者募集のお知らせ

2024年1月17日（水）17時30分より開催する「阪神・淡路大震災児童・生徒、教職員追悼の夕べ」の出演者を募集します。阪神・淡路大震災、東日本大震災支援をはじめ、震災に関わる体験や思いを語ってくださる方をご存知でしたら兵教組各地域組合（または兵教組生活部）までご連絡ください。

昨年同様、オンラインを併用した集会を予定しています。また、最終決定は11月末を目途としていますが、日程調整の関係上、締切までに決定することもあります。ご了承ください。

- ●出演内容 …　語り 20分程度
- ●募集数 ……　1団体
- ●出演資格 …　兵教組組合員
  ※組合員（元組合員の退職者含む）が含まれていれば、一般団体も可
- ●応募締切 …　11月末

＊「追悼の夕べ」についてのお問い合わせ
⋮
兵教組各地域組合または
兵教組生活部まで
（050-3538-2346）
078-241-2345

あんしん むすぶ
教職員共済
教職員のためにつくられた特色ある制度

自動車共済
くるま通勤の方、必見！
全コース・全等級で
「公務使用中」の事故は 等級ダウンなし!
さらに、補償充実コース・６等級以上で
「通勤中」の事故も 等級ダウンなし!
※「通勤中」は１共済期間中１回のみ。

【お問い合わせ・資料請求は】
厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所
TEL:078-221-9730
〒650-0004
神戸市中央区中山手通4-10-8 ラッセホール4F
まずはお気軽に
資料請求を♪

■この広告は、教職員共済の自動車共済の概要を説明したものです。
■ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。　承21-56-02(2107)
イメージキャラクターあむりん